

第3, 4学年 国語科学習指導案

第3学年「山小屋で三日間すごすなら」(2/3)

第4学年「あなたなら、どう言う」(3/3)

(1) 本時の目標

山小屋に持っていくものを決める話し合いを通して、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめることができるようにする。

姉と弟が納得するやり取りを考えることを通して、対話をするときに大切なことを理解することができるようにする。

(2) 主な学習活動及び指導上の留意点 (◎対話的な学びに向かう、振り返りにつながる手立て ★評価)

指導上の留意点	主な学習活動・学習内容 (第3学年)	位置	主な学習活動・学習内容 (第4学年)	指導上の留意点
・目的や条件など、グループで話し合う際に大事なことを、電子黒板を提示しながら、確認する。 ・前時と本時のめあてのちがいを明確にし、新しい話し合いのポイントがあることを知らせる。	1 音読をする。 2 前時を振り返る。 ・話し合いの目的の確認 ・分類による整理の仕方 3 めあてを確認する。 話し合っ、山小屋に持っていくものを決めよう。 (10分)	N	1 前時を振り返る。 ・相手の立場になって考えること 2 めあてを確認する。 おたがいがなっとくするやり取りを考えよう。 (5分)	・よりよい対話にするためのポイントを確認する。 ・前時のやり取りでは、互いにより気持ちにならなかったことを確認して、本時の意欲付けをする。
・話し合いのポイントとなる点の数を伝え、考えながら視聴できるようにする。	3 考えをまとめる時の話し合いに大事なことを確かめる。 ・理由付け ・目的に沿った優先順位 ・追加の必要性 ・意思決定の基準 (10分)		2 グループで姉と弟のやり取りを考える。 ・相手の立場になって考えること ・考えや思いを表す言葉の選択 ・よりよい言い方 (15分)	・相手の立場や状況になってやり取りを考えさせるために、心の声を書く欄を設ける。 ★①
◎対話に使える吹き出し言葉カードをグループごとに配布する。 ◎話し合いのポイントになる事柄を○、△で振り返らせる。 ★①、②	4 グループで考えをまとめる話し合いをする。 ・目的と条件の確認 ・付箋による考えの整理 5 グループごとに話し合いを振り返る。 ・理由付け ・優先順位 ・精査 (15分) 6 4年生の活動を見て、気持ちのよい対話になっているか、判定する。 ・交流 (5分)	Z	3 グループごとに考えたやり取りを練習する。 ・よりよい言い方 ・自分の感じ方との相違 (15分) 4 考えたやり取りを3年生に見せる。 ・よりよい言い方 ・交流 (5分)	◎心の声とやり取りが合っているかを確認するため、それぞれのグループで見合う時間をとる。 ・自分たちの考えたものがよりよい対話になっているか確認するため、3年生に判定してもらう。
・グループで行った話し合いの振り返りを参考にして、自分や友達のよさを実感させる。	7 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。 ・話し合いの良さ、改善点 (5分)		5 単元の振り返りをし、今後の自分の生活へ意識を高める。 ・相手の立場になって考えること ・学習や日常生活への活用の意識付け (5分)	◎振り返りの「つなげる」の視点を重視して書かせる。 ★②

(3) 評価 (★)

- ①話し合いの目的、条件や進め方を理解して話し合いをしている。(知)
- ②共通点や相違点を確認しながら、考えをまとめている。(思)

- ①言葉にも考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(知)
- ②自分の生活と結び付けながら、よりよい言い方について考えている。(思)

第3学年

振り返りに書かせたい文・言葉

- ①【**分かる**】話し合うときは、「何のため」をみんなが分かっていることが大事だと分かった。
- ②【**かかわる**】みんなで話し合っ、持ち物を決めることができたので、うれしかった。
- ③【**つなげる**】話し合うときには、理由を付けて自分の考えを言いたい。

第4学年

振り返りに書かせたい文・言葉

- ①【**分かる**】相手の立場になってやり取りを考えると、お互い納得する対話になると分かった。
- ②【**かかわる**】〇〇さんが考えたやり取りは相手のことをよく考えているなと思った。
- ③【**つなげる**】相手の立場になって、気持ちのよい言い方ができるようにしたい。